



平成22年4月26日

各 位

会 社 名 日本電産株式会社
代表者名 代表取締役社長 永守 重信
取 引 所 東証一部・大証一部(6594)
NYSE (NJ)
問合せ先 広報宣伝部長 田村 徳雄
T E L (075) 935-6150

当社子会社の平成22年3月期通期連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

当社子会社の日本電産コパル電子株式会社(コード:6883 東証)は、平成21年10月26日に公表の平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)通期連結業績予想値と比較して、本日公表の通期実績値において、別紙の差異が生じておりますので、お知らせいたします。

また、当社子会社の日本電産サーボ株式会社(コード:6585 東証)、日本電産リード株式会社(コード:6833 大証)も、平成22年1月28日に公表しました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせ致します。

平成 22 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 日本電産コパル電子株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 實
 (コード番号 6883 東証一部)
 問合せ先 取締役専務執行役員 眞銅 陽太郎
 (TEL 03-3364-7071)

平成22年3月期通期連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

平成 21 年 10 月 26 日に公表の平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)通期連結業績予想値と比較して、本日公表の通期実績値において下記の差異が生じておりますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 25,000	百万円 2,300	百万円 2,300	百万円 1,200	円 銭 18.10
今 回 実 績 (B)	24,985	2,422	2,406	1,566	23.62
増減額(B-A)	△14	122	106	366	—
増減率(%)	△0.1	5.3	4.7	30.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期通期)	28,472	2,760	2,688	1,535	23.16

2. 差異の主な理由

平成 22 年 3 月期通期連結実績値につきましては、回路部品や圧力センサ等において当連結会計年度末にかけ売上高が回復傾向にあることや、「WPR™ (ダブル・プロフィット・レシオ＝利益率倍増)プロジェクト」の進捗により経営体質改善・収益性向上を図ったことなどにより、前回発表予想値と比較し、売上高でほぼ横這い、営業利益で 5.3%増の 24 億 2 千 2 百万円、経常利益で 4.7%増の 24 億 6 百万円、当期純利益で 30.5%増の 15 億 6 千 6 百万円となっております。

WPR は、2008 年に日本電産 (株) の永守重信が自身の独自の経営手法に付した名称です。

WPR™ は、日本電産 (株) の日本国における商標です。

WPR© 日本電産 (株) 永守重信 2008 年

以上

各位



平成 22 年 4 月 26 日
会社名 日本電産サーボ株式会社
代表者名 代表取締役社長 田島 卓也
(コード番号 6585 東証第二部)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長
坂本 博
TEL (0277)53-8817

当社の親会社 日本電産株式会社
代表者名 代表取締役社長 永守 重信
(コード番号 6594 東証・大証第一部)

通期連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

平成 22 年 1 月 28 日に公表しました平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせ致します。

記

1. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,000	百万円 1,100	百万円 1,100	百万円 800	円銭 22.52
実績値(B)	20,305	1,372	1,429	1,376	38.74
増減額(B-A)	305	272	329	576	—
増減率(%)	1.5	24.7	29.9	72.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	25,170	1,182	1,063	680	19.13

2. 差異の理由

通期連結業績につきましては、平成22年1月28日付けの「平成22年3月期 第3四半期決算短信」で公表しておりますが、上記のとおりであります。営業利益等につきましては、WPR™プロジェクトを中心に、収益構造改善策として、生産性向上、原価低減、固定費削減に全社挙げて取り組んだ結果、前回の通期予想を上回る結果となりました。

以上

WPR は、2008 年に日本電産(株)の永守重信が自身の独自の経営手法に付した名称です。

WPR™ は、日本電産(株)の日本国における商標です。

WPR© 日本電産(株) 永守重信 2008 年

平成 22 年 4 月 26 日

各 位

上場会社名 日本電産リード株式会社
 代表者名 代表取締役社長 戒田理夫
 (コード番号 6833)
 問合せ先 経 理 部 長 松浦正明
 (TEL 075-315-8001)

通期連結業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

平成 22 年 1 月 28 日に公表しました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせ致します。

記

(1) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,600	600	600	380	54.29
実 績 値 (B)	6,997	973	1,042	647	92.52
増 減 額 (B-A)	1,397	373	442	267	
増 減 率 (%)	24.9	62.2	73.7	70.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月)	9,602	1,794	1,746	1,059	151.29

(2) 差異の理由

当社グループは半導体パッケージやプリント基板等の電子回路部品の品質判定を行う検査装置を市場に提供しておりますが、小型低価格のパソコン（ネットブック）や多機能型携帯電話（スマートフォン）等に向けた新市場の拡大に伴い、台湾・韓国を中心とした海外での受注回復により当第 1 四半期の需要減退期からは既に脱しており、当第 4 四半期（3ヶ月）に限れば前期の受注ピーク時に相当するまで回復しております。

また日本電産グループの収益構造改善策である WPR™ プロジェクトを推進するなか、製品装置の設計・仕様の見直し、中国拠点への生産移管による原価低減、業務効率改善による経費削減等を徹底して実施してまいりました結果、前回発表予想を上回ることとなりました。

以 上

WPR は、2008 年に日本電産（株）の永守重信が自身の独自の経営手法に付した名称です。

WPR™ は、日本電産（株）の日本国における商標です。

WPR © 日本電産（株） 永守重信 2008 年